

カシロ産業株式会社

[テーマ]：「仕事と生活の相乗効果」

[講師]：ファザーリング・ジャパン滋賀
代表 八木 雅彦 氏

[開催日時]：平成 30 年 11 月 2 日（金）
17:30 ～ 18:30

[会場]：カシロ産業株式会社

[参加者]：53 名



講話の内容

○仕事と生活について

- ・ 国の働き方改革実現会議において議論され、その成果として平成 29 年 3 月「働き方改革実行計画」がまとめられた。現在の働き方を見直し、ワーク・ライフ・バランスを実現することが急務である。
- ・ 従業員の健康の保持や能力向上、仕事への意欲の向上、仕事の効率化など、ワーク・ライフ・バランスを実現すると、企業・事業主側にも利点がたくさんある。実際に、業績を上げている企業も多い。
- ・ 企業・事業所において、制度としての休暇は整ってきたが、休暇を取りにくい風土がまだまだある。
- ・ ポジティブ・オフ（前向きな休暇取得）という考え方がある。前向きに休暇を取得すると、個人（従業員）は豊かなライフスタイルの実現、企業は長期的な企業価値の向上、社会・経済は活性化に貢献するなど好循環が期待できるという考え方である。
- ・ 労働生産性＝生産量（付加価値）／従業員数×労働時間
- ・ 日本の労働生産性は、OECD 加盟国 35 か国中 第 21 位

○父親の積極的な子育てへの参加

- ・ 「ファザーリング・ジャパン滋賀」は、「父親であることを楽しもう」をキャッチフレーズに、「心から笑っている、余裕のある父親」を増やすことを目的に活動中。
- ・ 夫が一番よく手掛ける家事は ①食器洗い ②風呂洗い ③洗濯
夫に最も期待する家事 ①料理 ②食器あらい ③掃除
- ・ 父親が積極的に子育てに参画すると、母親の心身の負担や不安を軽減する。
- ・ 父親が変われば、家庭が変わり、地域が変わり、企業が変わる。そして、社会が変わる。

参加者の感想

- ・ 父親が変われば、家庭が変わるということで、自分のできることからやってみようと思いました。
- ・ なかなか改まって聞けない話、自分自身において見直すいい話でした。古きよき時代には許されることが、平成に入り、人権等に関して厳しくなっているように思われ、人ごとにならず、家庭、会社の中で話し合う機会を設けていかなければと思いました。
- ・ ワーク・ライフ・バランスの正しい意味を再認識できました。家事、子育てへの夫の参加の大切さがわかりました。